

## 学校評価アンケートの結果について（お知らせ）

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。今年度は、アンケートフォームを活用して学校評価アンケートを行いました。ご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果をまとめましたので、お知らせします。

【グラフの見方】 アンケート内容に対し

- 1：そう思う
- 2：だいたいそう思う
- 3：あまりそう思わない
- 4：そう思わない

【データ】 回答数 児童：1105名

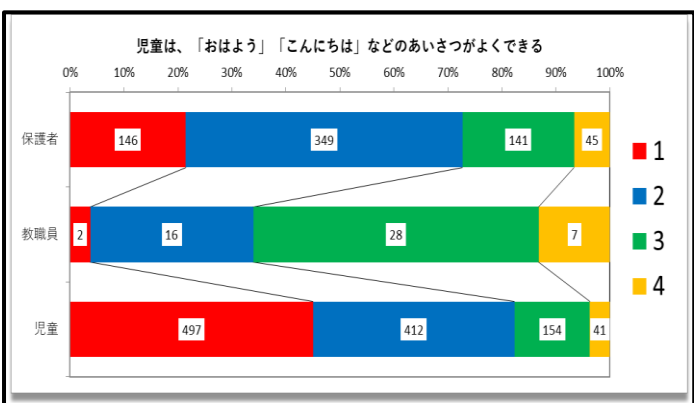
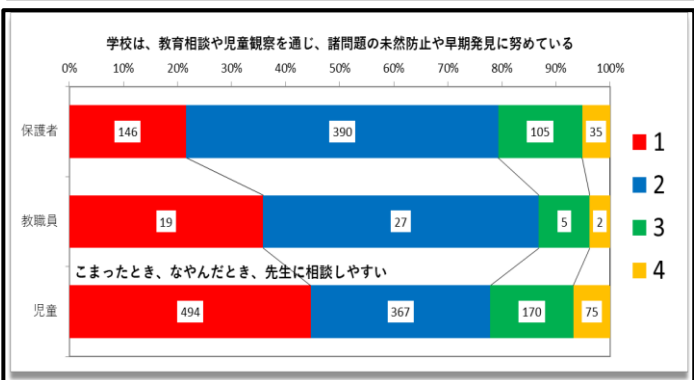
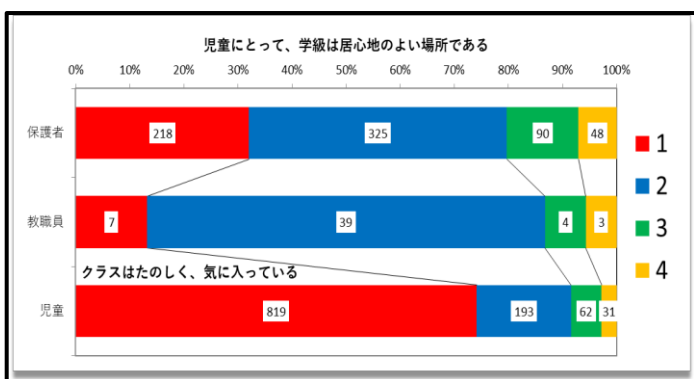
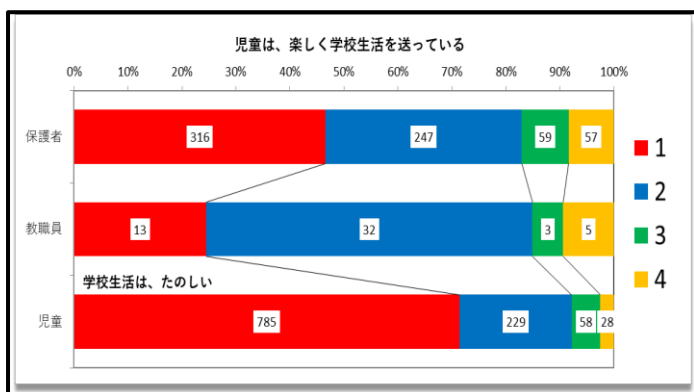
保護者：678名 教職員：53名

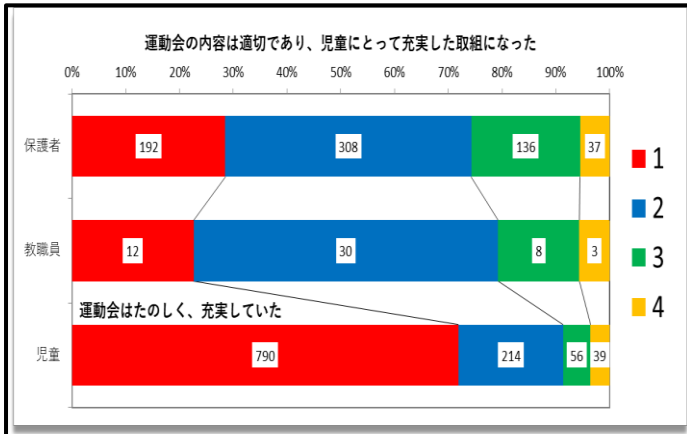
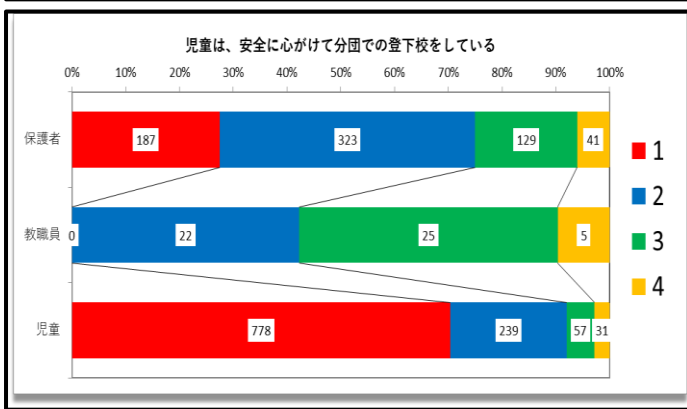
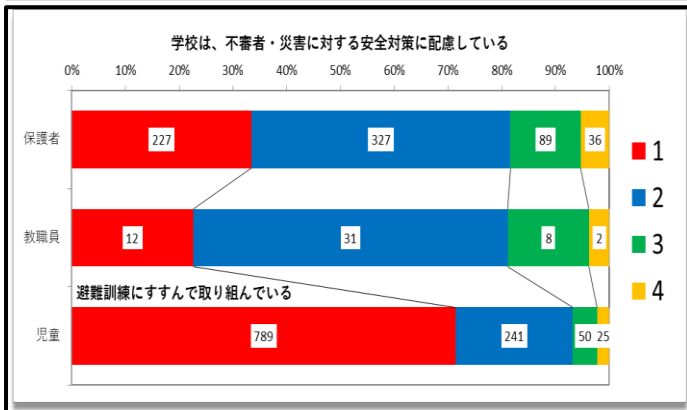
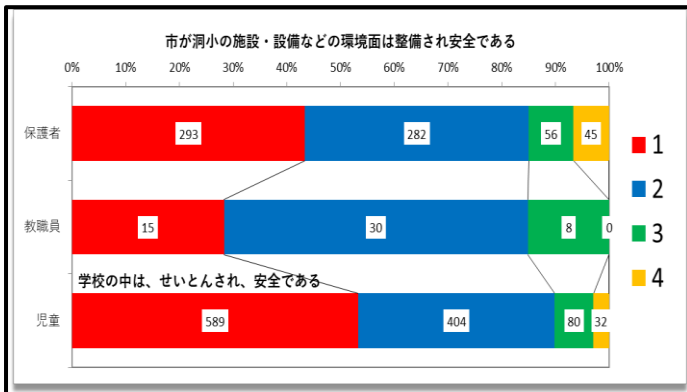
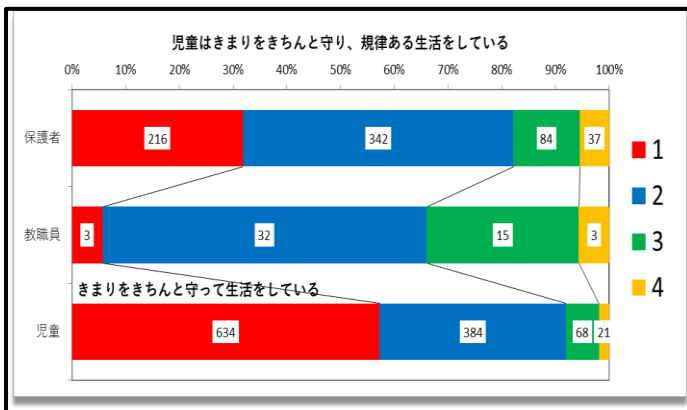
### 【学校生活】

約70%の児童が「楽しく学校生活を送っている」と回答しています。授業や行事への取組、友達と過ごす時間等を「楽しい」と思う児童がいる一方で、「そう思わない」と回答している児童もいます。また、「クラスはたのしく、気に入っている」という設問に対し、「そう思わない」と回答している児童もいます。一人一人の児童にとって、居心地のよい、居場所のある学級・学校にしていきたいと考えます。そのためには、児童同士が互いを認め合う場を設けたり、児童に寄り添ったりするなど、自己肯定感を高められるように取組を工夫していく必要があると考えます。今後も、児童が楽しさを実感できるように魅力的な学校にしていきたいと考えています。

いじめなどの諸問題の早期発見や未然防止の取組として、年3回の定期教育相談を実施し、児童理解と諸問題への対応に努めています。しかし、児童によって、相談したいと思える信頼関係を教職員と築けているかが課題であると感じます。いつでも相談に乗ってくれる大人がそばにいるということは、児童の安心感につながります。

挨拶は、人との関係づくりのきっかけになる、大切なものです。進んで挨拶をする児童に育てていきたいと考えています。挨拶運動として、学期ごとの「あいさつ週間」をはじめ、児童会役員・あいさつ委員、PTAと連携しながら取り組んでいます。大





人同士、大人と子ども等、家庭や地域でも挨拶をしよう、そんな日々の継続が挨拶をする習慣になるとよいと考えています。

学校生活だけでなく、家庭生活においてもきまりや規律を守ることの大切さを児童は学んでいます。健康を維持するための「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活習慣、時間や人との約束事を守ること等、マナーやきまりは、挨拶と同様、継続した指導が必要です。今後も、根気よく、あきらめずに指導していきます。

### 【環境・安全】

開校して14年が経過しようとしています。施設、設備は比較的整備された状態です。児童を中心とした毎日の清掃活動、委員会活動を中心に環境整備にあります。しかし、一部設備において経年劣化が進み、教職員の「そう思う」の割合が低くなっています。修繕が必要な箇所については、児童の安全に関わるものを最優先して対応しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインに沿って、日常生活のルールをはじめ、学習活動や給食・清掃など感染防止に心掛けて教育活動を進めています。引き続き、感染防止に配慮した環境を整えることに努めていきます。

定期的な避難訓練を行い、災害に備えた児童の安全対策にも努めています。地震や火災、不審者対応等、命を守るための避難ができるよう、想定を工夫して実施しています。危機管理体制の充実により、安心で安全な学校生活が送れるように努力していきます。

また、登下校の交通安全についても、PTA、地域のボランティアやシニアクラブの方々に力を借りて、指導を強化しています。しかし、一人一人の児童が交通安全意識をもつことが大切です。そのためには、家庭での交通安全への声掛けや日々の指導が不可欠です。学校・家庭・地域が協力して、児童が交通安全意識を高められるように努めていきます。

## 【行事・特別活動】

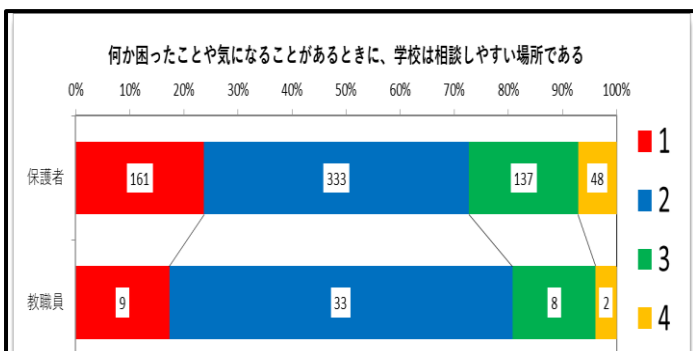
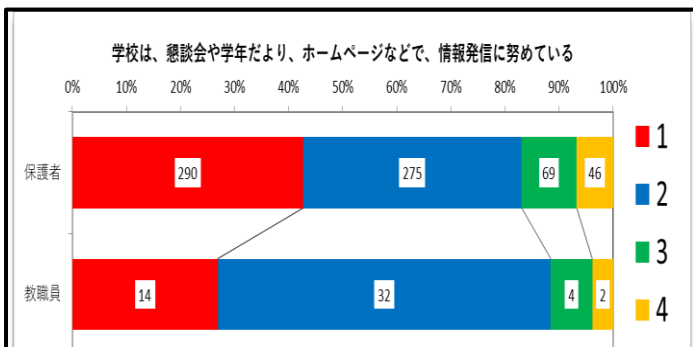
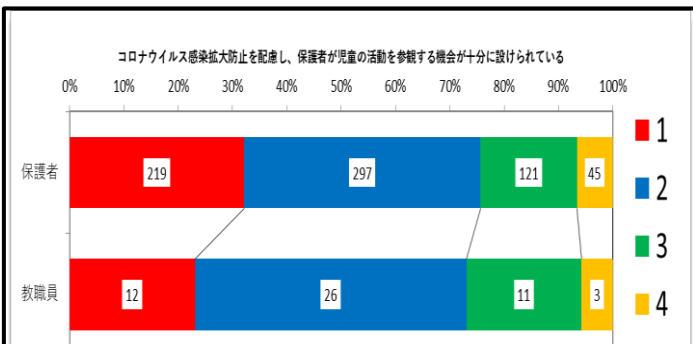
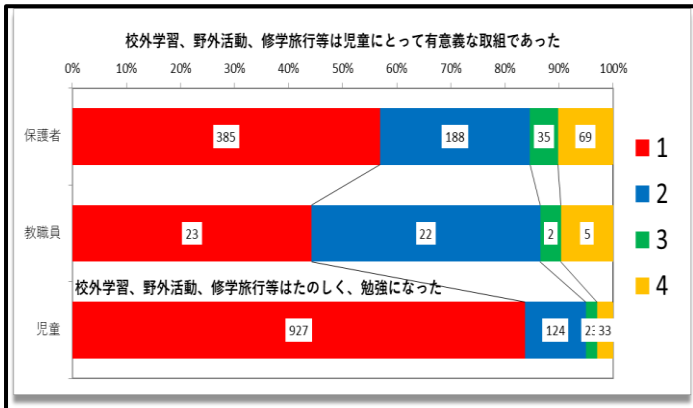
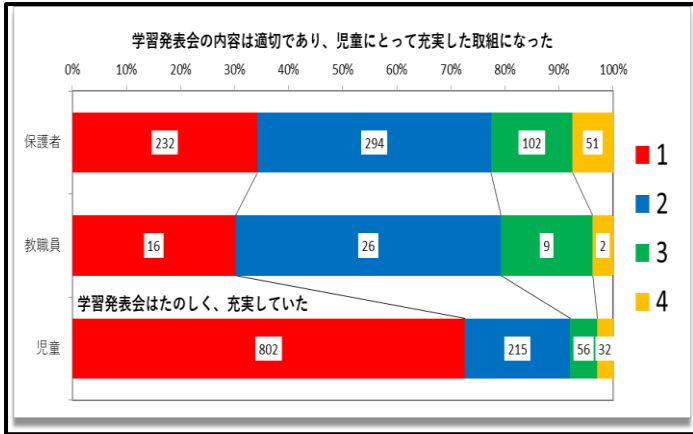
運動会や学習発表会は、感染拡大防止を含む安全対策を考えながら、児童ができるだけ分散して取り組めるようにしました。3密を避けるとともに、熱中症予防にも考慮し、学年ごとに行った運動会。学習した成果を学級ごとに発表することに主眼をおいた学習発表会。アンケート結果から、コロナ禍における行事の実施方法には改善の余地があると思います。しかし、児童及び参観していただく保護者にとって、安全第一であることを最優先に次年度も進めてまいります。

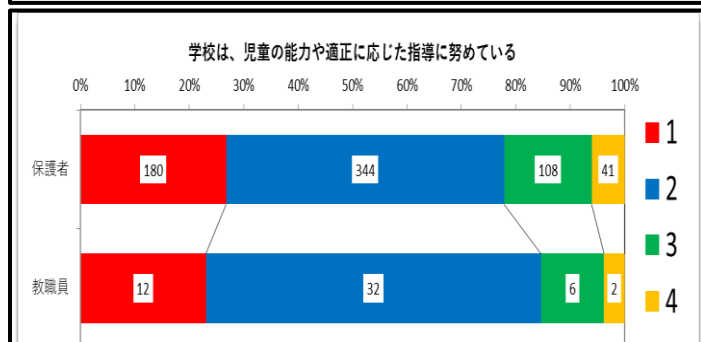
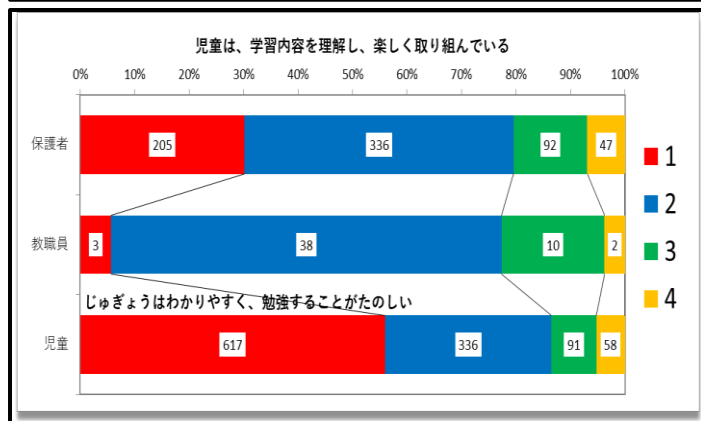
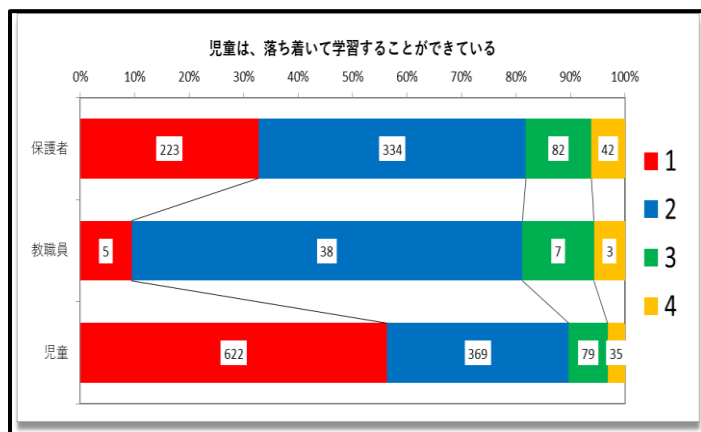
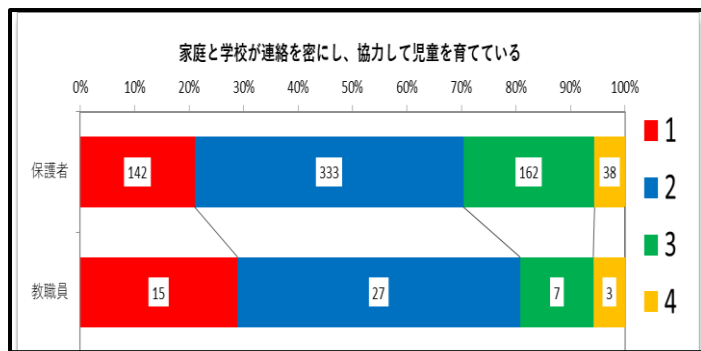
宿泊行事や校外学習については、児童の安心・安全を第一に考えながら、可能な限り実施できるよう進めてきました。修学旅行は予定通り実施し、野外活動は、日程を変更したものの1泊2日の内容を無事終えることができました。校外学習に関しては、一部実施できなかったものの、出前授業やICT機器を用いたりリモート授業に置き換えて実施することができました。アンケート結果から、宿泊行事や校外学習が有意義な取組になっていることが分かります。コロナ禍においても、児童が体験的に活動できる機会が確保できるよう今後も努めてまいります。

## 【家庭と学校の連携】

感染拡大防止のため、学校での児童の様子を保護者の皆様に見ていただく機会は減りました。感染状況によりますが、感染防止対策を徹底し、児童の様子を見ていただけるよう工夫していきたいと考えています。また、今後も、各種たよりやホームページを活用し、児童の活躍、学校の様子を伝えていきたいと思っています。

「学校は相談しやすい場所である」や「家庭と学校が連絡を密にし、協力して児童を育てている」という設問に対しては、約30%の保護者の方が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答されています。





家庭と学校との連携をより密にして、協力して児童を育成していく大切さを改めて感じています。お子様のことで気になられること、教職員の指導等でお困りのことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。担任だけでなく、教頭が窓口として、お話を聞かせていただきます。児童の健全な育成のために、必要な情報は共有しながら、努めてまいりたいと思います。

### 【学習指導】

一人一台タブレットが支給されたことにより、ICT機器を活用した授業を積極的に進めています。主にミライシードというソフトウェアを活用して授業を行い、児童に課題を配付して取り組ませたり、できた課題を提出させて評価したりと、少しずつ様々な実践に取り組んでいます。また、児童間で情報を共有して意見交換をさせたり、発表資料を作成させてプレゼンテーションに生かしたりと、タブレットを活用して主体的・対話的で深い学びにつながる授業を進めています。さらに、ドリルパークというソフトウェアを活用して、児童が自ら問題を解いて意欲的に学習に取り組む姿も見られます。今後は、タブレットを活用した授業実践を積み重ねるとともに、家庭における活用を進めていく必要があると考えております。

アンケート結果から、おおむね落ち着いて楽しく学習に取り組んでいることが分かります。しかし、そうでない児童がいることも確かです。より一層、児童一人一人の学習状況を把握するとともに、楽しい授業、わかる授業の実践に努めてまいります。

### 【記述でのご意見・ご要望等】

記述による課題や励ましなどのご意見もいただきました。ありがとうございました。

- \* 様々な取組に関する賛否両論のご意見をいただきましたが、コロナ禍であることをご理解いただけのご意見を多数いただきました。
- \* 行事、授業、生徒指導などについても多くのご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。これからの学校運営における貴重な資料として参考にしていきます。今後もご支援・ご協力のほどよろしく申し上げます。

〈問い合わせ〉長久手市立市が洞小学校 (Tel 64-2000) 教頭 伊藤 友香